No.15

岐阜大学教育学部
同窓会報
2009

岐阜大学教育学部同窓会の発展のために

同窓会長　青山　勉
昭和35年度 数学科卒業

この度，中舎会長のご退任の後を6月6日の理事会・評議会で，はからずも指名，ご承認いただき，会長職を引き継ぐことになりました。

もとよりその器ではなく，皆様のご期待に応えられるかどうか極めて心配で戸惑いを感じています。

本会は，会員2万名を越える大組織であり，社会の大きな変革に伴い，多くの課題を内包しています。幸いにして諸先輩のお力により，会としての組織運営や諸事業が堅実な歩みをしていることは喜ばしいことであります。

力及びませんが，役員，理事，評議員ならびに会員の皆様方のご指導とご協力を心からお願いし，これまでの歩みに倣い，社会の動向などを見据えながら精一杯その職責を果たすべく努力する所存ですのでどうぞお力添えをくださいますようによろしくお願いいたします。

岐阜大学教育学部の現状

今年の岐阜大学入学式で新入生や保護者に示されました大学案内書に，森秀樹学長が「岐阜大学は『学び，究め，貢献する岐阜大学』という理念の下に，地方大学のトップランナーを目指します。これまで，わが岐阜大学から7万名を超える方々が卒業されております。地方大学のトップランナーであるためには，何より地域社会から信頼される大学であり，とりわけ卒業生の皆様から愛される大学でありたいと思います。卒業生の皆様には，今後も岐阜大学との関わりを積極的に持って頂き，これまで以上のご支援を賜りますようお願い申し上げます」と述べられております。

一方，教育学部の現状について，第14号（昨年度会報）に江馬諭学部長が「教育学部の現状と将来」と題して，教職大学院の設置，教員免許更新制度への対応，卒業生の質を保証するシステムの充実等について，述べておられます。本年8月6日に行われましたオープンキャンパス共催事業での参加者説明会の折に伊東英教学委員長は，岐阜大学のさまざまな教育改革およびその成果に対して，文部科学省の岐阜大学に対する評価を紹介しておられました。その評価段階は，「期待される水準を上回る大学の評点は3，水準にある大学の評点は2，下回る大学の評点は1」の三段階があり，全国46大学中で岐阜大学は15項目のうちの7項目が期待される水準を上回る最高の評点の3となっています。

また，去る4月24日の朝日新聞の『2010年東海の大学力』の記事によりますと，全国722校の学長の岐阜大学に対する評価は，東海地区のNo.2と高い評価となっています。中でも，教員養成プログラムのアクトプランは教育実践力を高め，プラン採用以来教員採用率も正規採用者が全国7位だと報じています。うれしい記事でした。

こうした今日がありますのは，時代の変化や社会の

要請に真摯・敏速に応えてこられた大学の不断の改革のご努力によるものです。

岐阜大学の現状の正しい理解と双方向の伝達を

本同窓会の目的は「会員相互の親睦を図り，学識を高め，あわせて母校の発展と教育文化の進展に寄与することを目的とする」であります。私たち同窓生の願いは，18 歳人口減少の中，岐阜県の多くの若者が，教育学部に入学され，岐阜大学で教員としての力を十分に身に付け，岐阜県の教員として，力を尽くしてくれることです。そのことが岐阜大学教育学部同窓会の発展の基盤を強固なものにすると考えます。

私たち同窓会役員会として大切にすることは，営々として引き継がれてきた歴史と伝統を誇る総務，組織，事業，広報という 4 つの事業を，地道にそして的確に実施することと考えます。また，そうした事業実施の基本として，わが岐阜大学の現状をより正しく理解するよう努め，その内容を全会員に分かりやすく伝える心配りが必要と考えます。一方，会員としては，岐阜大学の現状について，自ら知ろうとする努力が大切だと考えます。今後とも，知らせる・知ろうとする双方向からの積極的な接近がきっと会員相互の親睦を深めることにつながり新たなエネルギーを生み出すのではないかと期待しております。とはいえ，私自身が最も，教育学部の現状を知る努力をする必要があります。会員の皆様方におかれましては，本会報，岐阜大学教育学部同窓会ホームページ（http://www.ed.gifu-u.ac.jp/~dousoukai/）をぜひご覧くださいませ。

「岐阜大学同窓会連合会」の設立

さて，岐阜大学は平成 16 年に国立大学法人となり，さらに本年度は，昭和 24 年新制国立大学として発足以来，創立 60 周年を迎えることとなりました。岐阜大学には，現在 5 つの学部に 6 つの同窓会があり，それぞれ独自に活動をしています。国立大学法人化を経た現状を鑑み，学部の垣根を越えた横断的かつ有機的な活動を通じて母校との連携や協力をより一層強めることが，対外的活動として重要な課題となってきました。そこで，岐阜大学の要請も踏まえて，創立 60 周年を記念し，全学の同窓生が相集い，学部等同窓会連合体としての「岐阜大学同窓会連合会」を設立することとなりました。その設立目的は「**同窓会相互の交流と親睦を深めるとともに，岐阜大学と同窓生との情報交換連携協力を緊密にし，もって岐阜大学の発展と学術の振興に対してより一層の協力・寄与すること**」と設立趣意書に明記されています。この会は，岐阜大学開学 60 周年記念の平成 21 年 6 月に発足し，9 月 5 日には『岐阜大学同窓会連合会設置記念式典』が全学部同窓会関係者参加のもと，岐阜大学医学部記念会館にて開催されました。これを機に全同窓生の母校愛を結集して，母校の更なる発展に寄与したいと考えます。会員各位のご指導ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

「岐阜大学基金」創設のご案内とご協力のお願いについて

ご案内のように，先般，岐阜大学森秀樹学長より国立大学として創立 60 周年を契機に『岐阜大学基金』創設のご案内とご協力のお願いの封書をいただきました。学長挨拶の中で岐阜大学の理念を述べられる一方，「大学運営は，国から交付される運営費交付金が年々削減という厳しい状況にあり，今後，国立大学の生き残りをかけた経営戦略が激化し，財政基盤が弱い大学は淘汰される可能性もあり，存続の危機に直面することが危惧されます。このような中，地域社会の貢献できる大学としての責任を果たすためには基金が必要だ」とされ『岐阜大学基金』の創設と協力の依頼をされておられます。

岐阜大学同窓会の一員として，一層の母校愛を結集し，可能な限り，力になっていきたいと考えます。皆様方のお力添えの程をどうぞよろしくお願いいたします。

岐阜県教職員互助会より教育文化助成金を受領

平成 21 年 9 月 30 日，長良川スポーツプラザ研修室において，岐阜大学教育実践研究助成事業に対して，貴重な岐阜県教育振興事業と再認され，旧に倍する助成金を互助会理事長玉木隆様より，ご寄贈いただきましたことを同窓会の皆様にお知らせいたします。この助成金は実践研究者の顕彰に充てていきたいと考えています。経済不況のさ中にあり，さらには公益法人問題などの財政課題山積の折に貴重な助成金をご寄贈いただきました岐阜県教職員互助会ご一同様に対しまして，深甚なる感謝を申し上げます。

おわりに

本会の発展のために，お世話くださっている本学の教育学部長を始め，教職員各位，とりわけ同窓会員で本学部在籍の先生方の熱きご指導，それぞれの場で，直接・間接にご尽力賜っております多くの皆様方に改めて感謝申し上げます。

終わりになりましたが，会員の皆様方のご健勝を祈念して本会の更なる発展と充実を願ってご挨拶といたします。

岐阜県の教員免許状更新講習

教育学部長　江馬　諭
昭和 49 年度 工学部卒業

1．はじめに

今回は，平成 21 年 4 月から始まりました「教員免許状更新講習」について報告させていただきます。「教員免許状更新講習」は，その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう，定期的に最新の知識技能を身に付けるためのもので，教員が自信と誇りを持って幼児・児童・生徒の指導に当たり，社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。

現職の教員の場合，この講習を免許取得後 10 年ごとに受けることになりますが，運用上最初は 35 歳，45 歳，55 歳の時点で受けることになります。教職経験がない場合は，実際に教員になるとき（なるまで）に受けることになり，教員にならなければ取得した免許は生涯維持されます。これに対して，平成 21 年 4 月以降に卒業して免許を取得する学生の場合は，免許取得後 10 年毎に講習を受ける義務があり，この講習を受けないと免許が更新されなくなります。同窓会の多くの方々が現職の教員ですので，免許状更新講習に対する関心は高いと思います。そこで，岐阜県での実施状況を少しお話します。

2．岐阜県の実施体制

岐阜県では，岐阜大学をはじめ県内の 10 大学と岐阜県および岐阜市の教育委員会が連携してコンソーシアム（共同体）をつくり，講習に関する業務全体を運営しています。岐阜大学のホームページ（http://www.gifu-u.ac.jp/）にある「岐阜県教員免許状更新講習」のタグをクリックいただくと，免許状更新講習のホームページが出てきます（図 1）。さらに，「受講希望者の方へ」の「受講開設一覧」を選択しますと，全ての開設科目が出てきます（図 2）。来年以降受講される方は，一度ホームページをご覧になるとよいでしょう。

ご存知のように，この講習は 5 日間で構成されており，必修は連続 2 日間，選択は合計 3 日間です。必修の講習は，8 月に 11 回（平日），9 月と 10 月に各 2 回（土日）開催されました。900 人以上の先生が受講されました。やはり，8 月開催の講習に希望者が多く，一部の講習では定員を大幅に上回り，別の日に変更していただきました。しかし全体としては，当初予定していた受講者数を上回ることはなく，開催地とともに概ね適正の範囲であったと思っております。

図 1　岐阜県教員免許状更新講習ホームページ
（http://www.kmk-gifu.jp/）

図 2　受講開設一覧
（http://www.kmk-gifu.jp/jyukou2.html）

選択については，６月 27 日から９月 21 日までに 341 回の講習が開催され，延べ 3000 人近い方が受講されました。ここでの受講定員は，講義形式のもので 50 名，演習・実習を含むもので 10 名あるいは 20 名となっています。全体として，申込者数は受講定員をかなり下回るものでした。しかし一部の講習では，申込者が受講定員を大幅に上回りました。一例を示しますと，「子どもの体力向上支援策」，「４技能を総合的に育成する英語指導法の工夫」，「子どもの問題と教育相談」，「思春期のこころを読み解く」，「高機能自閉症児者の理解と支援」などです。これらから，各教科の専門的な内容と同時に，教科全体を通した支援策や指導法についても，先生方の関心が高いといえます。また，様々な問題をかかえる児童生徒の理解や支援についても関心が高いといえます。来年度の講習では，このような点が考慮され，必要とされている講習が多く開設されることを望みます。

その他，講習を受けられた方から，「申し込み方法が複雑で分かりにくい」などのご意見を頂いております。次回以降の参考にさせていただきますので，講習の終了時にお配りするアンケート用紙に是非ご意見をお寄せください。

図３　岐阜大学基金
（http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?cd=1012）

３．おわりに

さて，８月 30 日に行われた第 45 回総選挙（衆院選）の結果，民主党を主体とする新政権が誕生いたしました。新政権は教員免許制について今までの政府と異なった考えを示しており，今後の推移に注目しなければなりませんが，岐阜大学としては制度が続く限り全力を尽くすつもりです。

以上，「教員免許状更新講習」について報告させていただきました。本学部としてはこれからも教員養成と教員研修を充実させていきたいと考えております。同窓会の皆様方には，今までに多大なるご支援を頂いてまいりましたが，本学部の発展のために今後ともご支援，ご協力をお願い申し上げます。

また最後になりましたが，岐阜大学は本年６月より岐阜大学基金を募集しております（図３）。この基金は，多くの皆様のご協力により，学生に対する奨学金や国際交流事業，特色ある研究活動への支援，地域社会への貢献事業，キャンパス整備など継続的な教育研究活動に活用することとしております。つきましては，同窓会の皆様方には，本趣旨をご理解の上，格別のご支援を賜りたく，合わせてお願い申し上げます。

教育学部 本館 正面

平成 21 年　岐阜大学教育学部同窓会評議会報告

日　　時　平成 21 年 6 月 6 日　13 時 30 分から　場所：教育学部本館 7 階　第一会議室

出席者等　評議員 119 名 (内委任状出席 78 名), 理事 25 名, 来賓 江馬諭教育学部長

会　　議　議事については, 議長として松田孝弘副会長を選出し, 以下の事項について審議した。

① 平成 20 年度事業報告

岩田総務部会長, 加藤組織部会長, 江端事業部会長, 村瀬広報部会長から資料に基づき報告があり，これを承認した。

②岐阜大学同窓会連合会設立に関して

岐阜大学同窓会連合会（仮称）設立に向けて, 岩田副会長より経過報告, 設立趣意書, 会則案等々の提案, 報告がなされ，これを了承した。

③平成２０年度決算報告

後藤総務部副部会長から２０年度の会計決算報告がなされた。

④会計監査報告

秋山会計監査委員から, 会計監査の結果, 予算の執行管理等適切になされている旨の報告がなされた。
審議の結果, 報告の通り２０年度決算が承認された。

⑤次期同窓会会長選出について

会長推挙委員会後藤委員長より, 次期会長に青山勉氏を推挙する旨の報告及び推挙理由についての説明がなされた。
これを受け, 審議の結果, 青山勉氏を次期会長として決定した。

⑥新同窓会長挨拶及び新役員の承認・紹介

青山勉新会長の挨拶の後, 新役員の提案があり，これを承認した。

※※※役員交代※※※

⑦平成 21 年度事業計画

村瀬総務部会長, 加藤組織部会長, 田口事業部会長, 辻広報部会長から各部の事業計画の提案がなされ, これを承認した。

⑧平成 21 年度予算審議

村瀬総務部会長から，21 年度予算についての提案がなされ，これを承認した。

平成 20 年度教育学部同窓会決算報告

●一般会計

＜収入の部＞

科目	決算金額
前年度繰越金	4,533,536
同窓会費	8,009,895
雑収入	13,122
合計	12,556,553

＜支出の部＞

科目	決算金額
運営費	2,576,013
庶務費	1,216,000
事務費	78,973
役員会費	436,660
通信費	72,820
事務管理費	0
渉外費	16,685
広報費	595,665
交通費	159,210
組織活動費	636,640
名簿管理費	0
名簿作成助成費	30,630
同窓会入会式費	606,010
学部援助費	354,634
事務援助費	324,634
記念庭園管理費	0
教育文化助成費	30,000
事業活動費	1,612,833
成果刊行費	786,502
会議費	641,501
事務費	184,830
広報活動費	3,152,326
印刷費	1,941,975
通信費	1,210,351
次年度繰越金	4,224,107
合計	12,556,553

●事業活動基金

＜収入の部＞

科目	決算金額
繰越金	45,321,066
利息	149,532
合計	45,470,598

＜支出の部＞

科目	決算金額
次年度繰越金	45,470,598
合計	45,470,598

●教育実践事業基金

＜収入の部＞

科目	決算金額
繰越金	4,899,931
利息	5,408
寄付金	100,000
合計	5,005,339

＜支出の部＞

科目	決算金額
教育実践論文顕彰費	220,000
次年度繰越金	4,785,339
合計	5,005,339

平成 21 年 6 月 6 日評議会で承認済み。

平成 20 年度　教育学部同窓会総務部会活動報告

第１回運営委員会

日時：平成 20 年４月 19 日（土）14：00 ～　場所：教育学部本館１階　第二会議室

教育学部後援会との合同運営委員会として実施

【協議事項】　会議に先立ち，合同委員会開催の趣旨について，岩田総務部会長から説明があった。

1．同窓会活動報告；総務部関係

2．同窓会理事会・評議会開催日程について協議した結果，５月 14 日に運営委員会，５月 31 日に理事会・評議会を開催することとした。

3．19 年度同窓会，後援会の活動状況及び予算執行状況について，資料に基づき報告があった。
引き続いて，20 年度予算作成に関わって，同窓会，後援会の活動のすみ分け等意見調整がなされた。

第２回運営委員会

日時：平成 20 年８月５日（火）17：30 ～　場所：ホテルグランヴェール岐山

【協議事項】　1．平成 20 年度教育学部オープンキャンパス共催事業「教育学部同窓生の集い」実施について検討した。

2．各部会から，平成 20 年度の活動状況の報告があった。

教育学部同窓生の集い開催

日時：平成 20 年８月８日（金）　場所：教育学部本館１階　第二会議室

第３回運営委員会を兼ねる

【交流内容】　・学部長より教育学部の現状について説明がなされた。

・同窓会長より同窓会の使命と今後の活動について説明がなされ，会員の理解を求められた。

・学部職員が会員の質問に答える形で，学部の今後の方向についての説明がなされた。

第４回運営委員会（拡大）

日時：平成 21 年１月９日（金）17：00 ～　場所：ホテルグランヴェール岐山

【協議事項】　1．各部会より平成 20 年度の現在までの活動報告がなされた。

2．岩田総務部会長より全学同窓会連合会設置に向けた経過報告がなされ，これを了承した。

第５回運営委員会

日時：平成 21 年１月 31 日（土）17：00 ～　場所：教育学部本館１階　第二会議室

【協議事項】　岩田総務部会長より

1．全学同窓会連合会設置に向けて資料提案がなされ，これについて検討し，概ねこれを了承した。

2．今後の日程についての説明がなされた

・臨時理事会　２月２日
・理事会，評議会　６月６日
・学位授与式　３月 25 日
・同窓会入会式及び懇親会　３月 25 日　13：00 ～
・入学式　４月７日　於国際会議場，同窓会長出席
・後援会総会　同日 11：00 ～，同窓会長出席

第６回運営委員会

日時：平成 21 年５月 16 日（土）　14：00 ～　場所：教育学部本館７階　第一会議室

【協議事項】　1．各部より平成 20 年度の活動報告がなされた。

2．全学同窓会設立準備委員会報告がなされ，引き続き審議を行い，これを了承した。

3．20 年度決算報告がなされ，これを了承した。

4．21 年度の事業計画が各部より提案され，これを了承した。

5．21 年度予算審議がなされ，予算案を了承した。

6．理事会，評議会の日時を決定した。

7．その他として，柳戸会館改修計画についての報告がなされた。

第７回運営委員会

日時：平成 21 年５月 16 日（土）　15：00 ～　場所：教育学部本館７階　第一会議室

教育学部後援会との合同開催

【協議事項】　1．20 年度教育学部同窓会活動報告

2．20 年度教育学部後援会活動報告

3．21 年度教育学部同窓会活動計画

4．21 年度教育学部後援会活動計画

同窓会と後援会が，お互いの活動を理解し，そして重複のないよう，活動計画について相互に検討を重ねることとした。

平成 21 年度岐阜大学同窓会役員

会長

青山　勉　(S35 数学)

副会長

松田　孝弘　(S36 地理)
江端　雅司　(S37 史学)
櫻井　昭子　(S39 技術)
岩田　惠司　(S42 数学)

幹事（◎部会長　○副部会長）

総務部会（担当副会長　岩田惠司）
- ◎ 村瀬康一郎　(S53 数学)
- ○ 後藤　忠喜　(S38 数学)
- 田口　勝行　(S40 体育)
- 吉田芙美子　(S41 英語)
- 棚橋　弘　(S48 音楽)

組織部会（担当副会長　松田　孝弘）
- ◎ 加藤　直樹　(S54 物理)
- ○ 臼井　敏雄　(S35 生物)
- 松岡　博　(S43 物理)
- 安田　重彦　(S43 数学)
- 国枝　俊介　(S44 美術)

監査
- 秋山　健　(S36 数学)
- 野村　武宏　(S39 物理)
- 西村　覺良　(S39 史学)

事業部会（担当副会長　江端　雅司）
- ◎ 田口　和男　(S43 生物)
- ○ 高田　哲夫　(S41 数学)
- 小森　正子　(S41 家政)
- 柴田　秀夫　(S44 体育)
- 藤本十美夫　(S45 数学)

広報部会（担当副会長　櫻井　昭子）
- ◎ 辻　泰秀　(S55 美術)
- ○ 堀　学　(S45 国語)
- ○ 今井　亜湖　(H 8 技術)
- 大塚　頼明　(S43 国語)
- 興戸　律子　(S54 数学)

評　議　員

大学系		
国文	吉永　康昭	H5
	鈴木健一郎	H6
	富山　哲成	H8
	足立　直子	H8
	吉田　雪絵	H8
史学	小川　敏雄	S40
	丹羽　柳三	S42
	赤塚　邦芳	S43
	友田　靖雄	S40
	西村　覺良	S39
法経	山本　譲	S48
	井森　宗吉	S51
	村井　俊之	S56
	坂野　隆	S58
	丸山　靖生	H3
地理	澤島　昌彦	S33
	松田　孝弘	S36
	小牧　寿	S45
	小林　直樹	S50
	豊島　博	S58
哲学	近藤　新八	S43
	柘植　卓伸	S52
	国定　幸敏	S53
	桝井奈津子	H 元
	奥村　直也	H5
数学	青山　勉	S35
	秋山　健	S36
	後藤　忠喜	S38
	岩田　惠司	S42
	宮脇　恭顕	S43
物理	安藤　隆	S44
	鈴村　雅史	S50
	奥田　好紀	S56
	若曽根　隆	S58
	堀部　昇	S61
化学	柘植　良雄	S50
	森　社	S51
	小柳　欣也	S51
	佐藤　伸幸	S53
	服部　公彦	S57
生物	森　英信	S34
	安藤　志郎	S43
	大野　伴和	S52
	渡辺　寛樹	H9
	細江　達三	H19

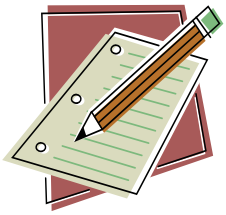
大学系		
地学	小栗　敬彦	S42
	山元　敏治	S45
	岩田　将之	S48
	大平　柳一	S49
	水谷　憲司	S55
音楽	三羽　幸夫	S38
	棚橋　弘	S49
	村下　香苗	S50
	杉本　公彦	S61
	三本木陽子	S51
美術	酒井　賢	S34
	高木　文夫	S35
	長谷川　清	S37
	國枝　俊介	S44
	安江　次郎	S50
体育	中村　博巳	S39
	田口　機子	S40
	石子　裕朗	S45
	岡部好四郎	S52
	谷端　良夫	S55
技職	山名　忠	S36
	宮本　英洋	S39
	伏屋　敬介	S46
	高橋　忠明	S49
	吉田　竹虎	S63
家政	杉山　恵子	S48
	清水　優子	S50
	有尾　陽子	H5
	大畑　恵美	H6
	伊藤　有里	H7
英語	中村　美幸	S40
	古沢　哲男	S42
	高橋　克	S50
	深尾　雅人	S57
	山下　敦子	S60
教育	加藤　芳憲	S33
	森川　士郎	S34
	古田　重行	S37
	国島　和憲	S43
	中村　正信	S43

師範系		
師範男子	森　俊朗	S13
	宮川登喜夫	S14
	渡邉　啓市	S16
	中西　行雄	S17
	西脇　成紀	S20
	田口　謙介	S22
	宮脇　修	S24
	安藤　俊夫	S25
	松岡　茂喜	S25
	森　直外	S26
師範女子	苅谷かほる	S11
	富田　君江	S15
	高井　玉枝	S15
	大前　美子	S16
	田中　良泉	S17
	新井　規子	S18
	所　家子	S19
	野中　和子	S20
	小倉三千子	S23
	安藤　雅子	S24
	恩田　千束	S25
青年師範	横山　貞二	S18
	長柄千代子	S18
	安田　嗣朗	S21
	山田　勲	S22
	内田　英夫	S23
	森　壽子	S23
	石田　幸彦	S24
	大野　幸子	S25
	服部　真六	S26

理　事

大学系		
国文	曽我部領史	H8
史学	高木　秀之	S31
法経	大平　橘夫	S40
地理	澤島　昌彦	S33
哲学	谷本　龍馬	S50
数学	北島　幸彦	S36
物理	佐橋　正康	S27
化学	華井　章裕	S46
生物	野村　俊朗	S33
地学	小島　理生	S39
音楽	三羽　幸夫	S37
美術	石原　通男	S32
体育	奥村　収	S32
技職	山名　忠	S35
家政	野村　令子	S34
英語	中舎美津男	S34
教育	堀井　恕直	S34

師範系		
男師	宮脇　修	S24
	安藤　俊夫	S25
女師	安藤　雅子	S24
青師	内田　英夫	S23
	石田　幸彦	S24



平成20年度教育実践研究助成事業の報告

事業部会長　田口　和男
昭和 43 年度生物地学科（生物）卒業

岐阜大学同窓会事業の大きな柱の一つである教育実践研究助成事業も，平成 20 年度で 24 回を迎えた。毎年発刊する「教育実践研究入賞論文集」に，入賞者の論文概要や講評が掲載されている。また，巻末には“栄誉を讃えて歴代入賞者の記録”のページがある。第 1 回の昭和 60 年度の入賞者は，優秀賞 30 名，優良賞 62 名であった。当初は事業名が「岐阜大学教育学部同窓会教育実践研究論文募集」となっており，岐阜大学教育学部の卒業生以外の教員の参加が少なく，応募数が 100 点に満たない地区もあった。しかし，先輩諸氏のご努力と県教育委員会や市町村教育委員会のご理解と全面的なご協力のもと，現在では県下全教職員の応募が 12 ～ 13％を推移し，まさしく教育実践発表の一大事業となっている。

今年度も，各校の校長先生の教職員への働きかけのもと教育実践が論文としてまとめられ，市町村教育委員会，各教育事務所単位で審査をいただいた後，３月上旬に県総合教育センターにおいて教育研修課のご指導のもと，第２次審査会を行い，３月中旬には，グランヴェール岐山で最終審査会が開催された。その会には，学識経験者（岐阜大学教育学部教授），県教育研修課企画監と課長補佐，６教育事務所長と教育研修課長，県都市教育長会長・町村教育長会長及び県小中校長会長と県小・中学校長会長が参加され，慎重且つ厳正に審査が行われた。岐阜県の小中学校関係で，これだけのメンバーの方々が一堂に会して審査される会は他にはないことを報告させていただく。

５月下旬には，「入賞論文集ー第 24 集ー」を発刊することができ，入賞者はもとより，県内の小中学校及び上記の関係機関等に配布することができた。

【最終審査会で挨拶する中舎同窓会長】

【研究実践論文の内容説明】

【論文を手にする最終審査員】

【慎重に審議する最終審査員】

1. 応募状況とその傾向

県内の教職員から 1417 名，1383 編の論文の応募があった。内訳は校長 9 名，教頭 12 名，教諭 1342 名，養護教諭 33 名，栄養教諭 2 名，事務職員 9 名，講師 10 名である。性別では，男性 730 名，女性 687 名，校種別では，小学校 882 名，中学校 535 名である。全教職員の約 13％という多くの方がこの教育実践論文に応募した。このことは各教職員が自己研鑽を積み，記録にまとめ，実践を振り返るというサイクルが義務教育の現場に定着してきた現れであると考えられる。また，今回から，すべての教職員から幅広く応募していただくために，講師の先生からの募集を始めた。

年代別にみると，20 代は 527 名，30 代は 471 名，40 代は 288 名，50 代は 131 名である。特に，20 代はここ 3 年間 500 名台を越えており，若い世代の頑張りは頼もしい。また 50 代は前年度より 47 名増え 100 台を越えたのも特筆される。

論文の領域については，1383 編の内，教科は 943 編で国語科，算数・数学，社会，理科が多く，４教科で 608 編を占めた。続いて保体，英語が多かった。他の領域では，学級経営，特別支援教育の応募が目立った。

2. 審査会の動向

審査の観点は

(1) 教育の今日的な課題を踏まえ解決の方向が明確になっているか。
(2) 教育現場に密着して，目標，計画，指導，評価の一体化が図られているか。
(3) 児童生徒の成長や変容の姿がよく表れているか。
(4) 研究及び実践内容に創造性・妥当性が見られ，説得力のある論文であるか。
(5) 教育実践・研究論文として明確な表記であるか。

【意見を発表する最終審査員】

の５点で，各観点には３～４の評価の窓があり，例年同様，厳正に審査が行われた。

最優秀賞については，観点別の評定も全く同じであり，甲乙をつけることができないということから，次の二点にすることが決定された。

・笠松町立笠松小学校桝井奈津子教諭の論文〈道徳〉「自己を見つめ，自らよりよい生き方を求め，実践する児童を育む道徳教育～心の成長を実感し，自らよりよく生きようとする子が育つ道徳の時間と総合単元プログラムの在り方」
・関市立旭ヶ丘中学校山田貴之教諭の論文〈理科〉「科学的に調べる力を習得し，自ら自然を探求する生徒の育成～一人一人が学ぶ力を身に付け，学ぶ喜びを実感できる理科学習の在り方～」

桝井奈津子教諭の論文は，教師自身の長年にわたる「道徳教育」に対する研究の集大成であり，道徳の時間だけでなく全教育活動を通して，目の前の子どもたち一人一人の豊かな心の育成に取り組む教師の熱い情熱が伝わってくる。新学習指導要領を踏まえ，道徳的な価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深める道徳の時間の指導として，価値分析，資料分析を熱心に行い，子どもたちの実態に応じて発問の一つ一つを吟味し，子どもの発言だけでなく，日常的に子どもの変容を捉えながら指導を点から線へと繋げていく実践がまとめられたすばらしい論文である。

また，山田貴之教諭の論文には確かな理論構想と地道な実践が記されており，常に指導の方向を見極め，生徒に寄り添った歩みが展開されている。そこには多様な評価と分析，それに対する工夫・改善がある。１年を通じた生徒の変容ぶりが何より大きな成果として評価できる。多くの参考文献に象徴されるように教師の求めてやまない情熱やひたむきさと常に目の前の生徒から検証，考察する姿勢が実践の礎となっている。実践内容は，特に「科学的に調べる力の習得」や「学ぶ喜びを実感できること」において，生徒の姿から成果が示されており，今後の教師自身の教育実践に生きるだけでなく，県内の理科教育の充実につながる実践論文である。

3. 今後に向けて

・昭和 58 年の岐阜大学統合記念事業として始まったこの事業は，岐阜県の小中学校の教職員の資質と指導力の向上，併せて義務教育の充実や発展に大きな役割を果たしてきた。
・今年度常勤講師の応募が 10 名あったことは，それだけ裾野が広がったということであり，意義のあることである。
・県教育委員会の出している「方針と重点」の見届け，評価がこの実践論文審査であるといえる。

２次審査会，最終審査会の審議の中で次のことが話題になった。

岐阜大学教育学部同窓会が主催する教育実践研究助成事業に対する評価と今後への期待が感じられる。私たち事業部は，このような期待に応えるよう教育実践研究助成事業の運営に誠心誠意あたりたい。

最後になりましたが，『教育実践研究入賞論文集ー第 24 集ー』の刊行に当たり，岐阜県教育委員会をはじめ市町村教育委員会，岐阜県小中学校校長会のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

なお，平成 10 年度から今日に至るまで，当事業推進のため，財団法人岐阜県教職員互助会から教育文化助成金をいただいていることを追記します。

第 24 回（平成 20 年度）　岐阜県小中学校

教育実践研究論文受賞者一覧

最優秀賞（2 編）

笠松町・笠松小学校	桝井奈津子	自己を見つめ，自らよりよい生き方を求め，実践する児童を育む道徳教育 ～心の成長を実感し，自らよりよく生きようとする子が育つ道徳の時間と総合単元プログラムの在り方～（道徳）
関市・旭ヶ丘中学校	山田　貴之	科学的に調べる力を習得し，自ら自然を探求する生徒の育成 ～一人一人が学ぶ力を身に付け，学ぶ喜びを実感できる理科学習の在り方～（理科）

優秀賞（8 編）

岐阜市・加納小学校	高橋　雅博	自ら見通しをもって問題を解決することができる子の育成 ～実感を伴った理解を図る理科学習の創造～（理科）
岐阜市・長良東小学校	濱　研二	数学的な表現力が育つ学習活動 ～表現力に重点を置き算数の授業を考える～（算数）
大垣市・東中学校	伊東　誠	自然のすばらしさを実感しながら，科学的な見方や考え方をつくりだす生徒の育成 ～小中一貫教育における，中学校 1 年生理科授業の在り方～（理科）
揖斐川町・揖斐川中学校	山本久美子	豊かな自己表現力につながる指導方法の工夫改善 ～実践的コミュニケーション活動を通して，より豊かなまとまりのある英文を構成する力を育てる指導の在り方～（英語）
可児市・東明小学校	稲垣　章子	スペシャルニーズをかかえる子への教育支援のあり方 ～子どもの心に寄り添える養護教諭をめざした 4 年間の実践～（教育相談）
多治見市・養正小学校	小島　明子	在籍校における適切行動の増加を目指した通級指導 ～コンサルテーションとソーシャルスキルトレーニングを組み合わせた支援～（特別支援）
瑞浪市・瑞浪小学校	藤井　志保	あらゆる生命の誕生のすばらしさに気付き，その機能性や連続性に感動し，生命尊重の態度を高めていくことができる児童の育成　～第 5 学年 A 領域「生命のたんじょう」における実践より～（理科）
高山市・北小学校	亀原　修一	夢中になって追究する楽しさを味わわせ，基礎基本の確実な定着を図る算数授業の創造 ～「習得」と「活用」を視点としたカリキュラムの見直しと，算数的活動の充実を通して～（算数）

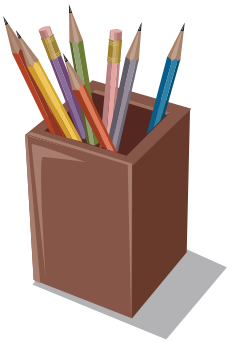
優良賞（40 編）

岐阜市・長良中学校	坂野　美恵	生涯にわたって生活を主体的に営む子を育てる家庭科教育 ～消費における「批判的思考」と「意思決定」に焦点をあてた指導を通して～（技術・家庭）
岐阜市・岩野田北小学校	山口　美穂	国際感覚を養う環境の中で，英語学習の素地を育てる英語指導の工夫 ～英語をツールとして実践的コミュニケーション意欲を高めるための指導の工夫～（小学校英語）
岐阜市・長良東小学校	伊藤　智裕	社会的なものの見方や考え方を深め，活用する子が育つ社会科学習（社会）
羽島市・中央小学校	柴田ますみ	児童が「問う」学習指導の構築－「児間児答」を拓く－ ～「劇選び・劇づくり」を通して Part2 ～（特別支援）
羽島市・足近小学校	大蔦　孝志	「社会生活の意味を主体的に追究し続け，社会的なものの見方や考え方を高める子」をめざして（社会）
各務原市・那加第二小学校	田中克典	「学校経営の重点」具現に向けた取り組み ～学校評価による PDCA サイクルを大切にして～（管理経営）
各務原市・鵜沼第三小学校	足立美穂	基礎・基本を確実に身に付け，伸びの実感を味わう子の育成 ～確かで豊かな表現のできる国語科学習の在り方～（国語）
各務原市・蘇原第一小学校	荒川千登世	自己指導力を育てる保健教育の推進 ～自ら進んでよりよい生活習慣を身につける児童の育成をめざして～（健康安全）
山県市・高富小学校	小原たか子	言語活動を通して，気付きの質を高める指導の工夫改善 ～児童の発達段階を考慮し，生き生きと学べる生活科授業を目指して～（生活）
山県市・富波小学校	今瀬美穂	「生や死」にふれあい，命の大切さを実感できる子の育成 ～生きる喜びを感じることができる子を育てるために～（学級経営）
瑞穂市・中小学校	首藤めぐみ	生涯にわたって，健全な生活を送ることのできる子の育成 ～家庭との連携を通した肥満傾向児個別指導のあり方～（保健）

本巣市・真正中学校	高　見　智　恵	望ましい食生活の在り方を理解し実践できる生徒の育成 ～学校・家庭・地域と連携した指導を通して～　（食育）
北方町・北方小学校	吉 田　　光 宏	自らの感じ方や考え方を問い直し，よりよい生き方を追い求める子を育てる道徳教育のあり方 ～自己見つけにつながる指導過程を重視した道徳の授業実践を通して～　（道徳）
大垣市・東小学校	高　橋　純　子	自然のすばらしさを実感しながら・主体的に学習に取り組む子の育成 ～科学的な見方や考え方を高める理科学習の在り方～　（理科）
大垣市・興文中学校	上　野　寛　子	思考と認識を深める社会科指導の在り方 ～社会のしくみや人間の営みを仲間と共に追究し続ける生徒の育成～　（社会）
大垣市・星和中学校	水　野　哲　也	仲間と共に生き生きと取り組み，よい動きを身に付ける体育学習 ～達成感を味わえる「前方倒立回転跳び」の指導～　（保健体育）
養老町・養北小学校	池 別 小 百 合	自分の発想や思いを，造形表現できる子の育成 ～色や形にこだわって，思いを表現できる子を目指して～　（図画工作）
養老町・東部中学校	山 中　　貴 博	生徒一人一人に実践的コミュニケーション能力の基礎を育む授業の在り方 ～基礎・基本の定着を図り，一人一人の自己表現力を高める指導と評価の工夫～　（英語）
垂井町・東小学校	桝 岡 菜 穂 子	運動の楽しさや喜びを味わい，進んで運動に取り組む児童をめざして　（体育）
垂井町・不破中学校	富　山　哲　成	「確かな読みの力」を育成する国語科授業 ～身につけたい「読む力」を明確にした文学作品の授業を通して～　（国語）
揖斐川町・久瀬小学校	小 西　　加 奈	自主的に健康な生活を送ることができる子の育成 ～小規模校での養護教諭の特性を生かした健康教育～　（健康教育）
関市・緑ヶ丘中学校	土 屋　　寿 美	自ら学び，自然を追究しようとする生徒の育成　～身近なものから考えられる理科授業～　（理科）
関市・桜ヶ丘中学校	酒 井 み な 子	仲間とともに音楽の美しさを求め続ける生徒　（音楽）
美濃市・美濃小学校	鷲 見　　宏 太	身近な事象の不思議さを感じ，主体的に追究していく子の育成 ～一人一人を大切にした理科授業を通して～　（理科）
郡上市・小川小学校	横 幕　　将 成	説明する力をつけるための話すことの指導 ～４コマプレゼンテーションで磨く，児童の話し言葉の「内容」「言葉」「方法」～　（国語）
美濃加茂市・太田小学校	飯 尾　　友 謙	仲間と共に自立する子をめざす学級づくり ～児童が，仲間と共に活動するよさを実感し，めざす自分をもって，地道に歩みを進められる心情と態度を育成する「学級活動」の創造～　（特別活動）
可児市・蘇南中学校	真 野　　純 次	今まで身に付けてきた数学的な見方や考え方を進んで活用することのできる生徒を目指して ～１次関数の単元構成と単位時間の構成（導入・見通し・終末）の見直しを軸に～　（数学）
富加町・富加小学校	藤 田　　知 美	コミュニケーション能力の素地を養う英語活動のあり方 ～意欲を高める活動の工夫と評価～　（英語活動）
御嵩町・御嵩小学校	桑下　みちよ	「できた」「わかった」という喜びを味わえる子をめざして ～算数科における少人数指導のありかた～　（算数）
多治見市・多治見中学校	岡 田　　海 保	正しく，まとまりのある英語で生き生きと自己表現できる生徒 ～より豊かな自己表現を生み出すための授業改善の工夫～　（英語）
土岐市・泉中学校	加 藤　　隆 史	中学校における「生徒による授業評価」の有効性について ～社会科における授業改善への活用を中心として～　（社会）
瑞浪市・稲津小学校	西 尾　　恵 子	話し合いを通して読み深める子　～物語文の読み取りから音読の工夫考える授業を目指して～　（国語）
瑞浪市・瑞陵中学校	小 栗　　公 介	数学的な見方や考え方を育てる指導の工夫　～１年生「数と式」領域の指導を通して～　（数学）
恵那市・明智小学校	小 島　　浩 輝	夢中になって運動に取り組み，仲間と学ぶ喜びを実感できる授業 ～運動の見方・考え方を高める指導方法を求めて～　（体育）
恵那市・恵那西中学校	加 藤　　望	思考力・判断力の育成を目指すバレーボールの授業の創造 ～バレーボールにおける空いた場所をめぐる攻防を目指す指導方法の工夫改善～　（保健体育）
中津川市・坂本小学校	森 川　　陽 子	英語活動を楽しむことを通して，積極的にコミュニケーションを図ろうとする子の育成 ～児童が学習の仕方を理解し，主体的に英語活動に取り組むための工夫～　（英語活動）
飛騨市・神岡小学校	森下　実奈子	物事を主体的に考え行動できる「自己行動力」を育成する集団づくりの実現 ～自己確立のための自信もたせと，道徳授業を中核においた学級経営を通して～　（学級経営）
高山市・西小学校	竹 田 万 里 子	どの子にも居場所のある学級を目指して ～特別支援教育コーディネーターとして「つながりをつくる支援」の試み～　（特別支援）
下呂市・中原小学校	池 戸 み ゆ き	生活を工夫し創造する能力と実践的な態度の育成 ～仲間や家族とかかわり合って解決する活動を通して～　（家庭）
白川村・白川小学校	西 野　　範 美	自立に向けた思考力を高める指導の在り方 ～算数科を通した自己決定力，コミュニケーション能力の育成～　（算数）

新人賞（20 編）

岐阜市・長良西小学校	本 間　祐 一	自ら社会生活の意味を追求し続ける子　～実感を伴いながら，見方や考え方を高める社会科学習の在り方　（社会）
羽島市・足近小学校	吉 田　彩 香	強い願いをもち，仲間や環境に関わりながら活動を広げ深めて気付きを生み出し，生活を豊かにする生活科学習の創造　（生活）
本巣市・一色小学校	古 川　志 穂	自らものをつくりだす喜びを味わい，つくり，つくりかえ，つくり続ける子を目指して ～持てる力を主体的，創造的に働かせることができる図画工作科～　（図画工作）
山県市・高富小学校	河 島　涼 子	社会的事象の意味を意欲的に追究し，社会的なものの見方や考え方を深める子の育成 ～社会科入門期の 3 年生が生き生きと学習に向かう姿をめざして～　（社会）
大垣市・興文小学校	桒 原　利 香	豊かな発想を働かせたり，自由に構想を練ったりしながら，つくりだす喜びを味わう子どもの育成 ～目標と評価と指導の一体化～　（図画工作）
垂井町・宮代小学校	長 屋 香 奈 恵	生命を尊重し，自他共に大切にできる子の育成 ～性教育を通して，からだや命の大切さに気付き，自己肯定感がもてる子を目指して～　（健康安全）
神戸町・神戸小学校	溝 内　悟 史	自ら進んで運動を楽しみ，生き生き学ぶ体育科指導の在り方 ～仲間と共に学び合う喜びを通して～　（体育）
開市・旭ヶ丘小学校	横 井　大 輔	集団の一見としてよりよい生活や人間関係を築こうとする児童の育成 ～なかまとかかわり合う力に焦点を当てて～　（特別活動）
郡上市・西和良中学校	村 土　尚	「分かる」「できる」喜びを持たせる社会科授業 ～少人数学級のよさを活かした社会科指導を通して～　（社会）
美濃加茂市・山手小学校	村 橋 め ぐ み	かかわりあいの中で伝え合う力を高める子の育成　～物語文教材の読み取り学習を通して～　（国語）
可児市・土田小学校	豊 田 久 美 子	要支援児童を核とした学級経営のあり方の検討　～ A 子・B 男の指導を通して～　（学級経営）
坂祝町・坂祝小学校	藤 本　貴 子	学級経営案（にこにこプラン）を通した 3 つの心を育てる学級作り ～学校経営と学級経営の関わりの明確化～　（学級経営）
御嵩町・伏見小学校	江 口　敦 子	自ら考え，表現できる算数科の授業改善　～ブロック操作・言葉・式での表現を通して～　（算数）
多治見市・昭和小学校	田 中　悠 子	自らよりよいエコ的な生活を創り出す子 ～新学習指事要領を踏まえた．実践的・体験的な活動を重視した「考える家庭科」授業の創造～　（家庭）
多治見市・昭和小学校	長 堀　真 人	領域の特徴をとらえ，総合的な社会的なものの見方や考え方ができる子 ～社会学習から歴史学習に移行がはかれる 5 学年の社会科学習の在り方～　（社会）
土岐市・妻木小学校	三 根 由 佳 里	運動の楽しさや喜びを味わう体育科「まんぞく授業」を求めて　～ 2 年生「マット遊び」「的当てゲーム」の実践を通して～
瑞浪市・土岐小学校	古 澤　咲 子	数理的に追究できる子　～仲間との学び合いを充実させるエ夫～　（算数）
中津川市・第一中学校	小 林　恵 子	考えや思いを積極的に表現しようとする生徒の育成　（英語）
高山市・宮中学校	佐 々 木 俊 輔	人権意識を高めるための総合的な学習の時間の在り方 ～平和学習を核とした生き方の学習を通して～　（総合）
下呂市・東第一小学校	田 口　智 洋	積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を育てる英語活動の在り方 ～発達段階を踏まえた指導計画の作成と TT の役割の明確化～　（総合）



お詫び

会員の皆様にお届けしました同窓会報 No.14（１１頁）の「教育実践研究論文受賞者一覧」で，優良賞４０編のうち，２０編が欠落するという誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに，訂正させていただきます。

平成 19 年度 優良賞（40 編）

岐阜市・長良小学校	馬場　雅也	要旨を正確に読み取る子が育つ説明文指導	（国語）
岐阜市・岐阜養護学校	野田　剛志	よりよい生活習慣をめざして　～排泄指導を通して～	（特別支援）
岐阜市・岐阜養護学校	藤井　大昌	続「見え方，感じ方」を育てる活動　～「感覚統合法」を基にした感覚遊びのモデル化を通して～	（特別支援）
羽島市・堀津小学校	吉田　圭子	筋道を立てて考え，進んで表現できる子を目指して　～生き生きと考えを伝え合うための指導・援助の在り方～	（算数）
羽島市・足近小学校	栗野　真記	意欲的に働きかけ，科学的な見方や考え方を創り出していく理科学習　～「わかった，理科っておもしろい！」と問い続ける授業をめざして～	（理科）
各務原市・鵜沼第二小学校	本間　祐一	歴史上の人物の願いや時代背景を，より広い視野から深めて考え，社会的事象を追究する力を育てる社会科学習	（社会）
各務原市・鵜沼第三小学校	足立　美穂	基礎・基本を確実に身に付け，伸びの実感を味わう子の育成　～確かで豊かな表現のできる国語科学習の在り方～	（国語）
各務原市・鵜沼第三小学校	松本　優	身の回りの事象や歴史上の人々の生き方について問題意識をもって追究し，社会的な見方・考え方を高める子の育成	（社会）
本巣市・本巣中学校	廣瀬　功二	主体的に学び続ける力をはぐくむ理科学習　～科学的な見方や考え方をはぐくみ，その高まりに喜びや価値を感じることができる授業の創造～	（理科）
山県市・伊自良北小学校	土井　恵子	生きる力を育む特別支援の在り方　～通常学級における広汎性発達障害Ａさんの指導を通して～	（特別支援）
山県市・高富中学校	川島　誠	主体的に自然を追究する力の育成　～科学的な見方や考え方を深めるための学習活動～	（道徳）
笠松町・笠松小学校	桝井　奈津子	自己を見つめ，自らよりよい生き方を求め，実践する児童を育む道徳教育　～「子ども理解」を生かした心に響く道徳の時間～	（理科）
北方町・北方中学校	堀　貴美	主体的に自己表現できる生徒の育成　～コミュニケーションの基礎の定着を図る指導の工夫～	（英語）
大垣市・興文小学校	中島　勝義	意欲的に課題や願いを追究し，主体的に学習に取り組む子の育成Ⅴ　～科学的なものの見方や考え方を高める理科学習の在り方～	（理科）
大垣市・江東小学校	幅　壽美子	日本の学校に適応し，生き生きと生活できる外国人児童の育成　～ブラジル人児童Ａ子の言葉と心の成長を願って～	（その他）
大垣市・江東小学校 大垣市・江東幼稚園	齋藤　三奈 渡邉麻友美	自立心を育むための保幼少連携の在り方	（その他）
大垣市・西部中学校	神保絵美子	「確かな学力」が身につく社会科学習の工夫　～自分の学習を自覚し，考え，学び合う子どもをめざして～	（社会）
海津市・吉里小学校	中川　秀一	学びあう力を育てる算数の授業づくり	（算数）
輪之内町・福東小学校	西野　美佳	確実に読み取り，自分の考えを深め，表現しようとする子の育成　～文学的文章（物語文）の領域を通して～	（国語）
神戸町・神戸中学校	水野　幸子	たくましく生きる力を育む授業づくり　～生活単元学習における実践を通して～	（特別支援）
揖斐川町・谷汲中学校	阪野　きよみ	不登校生徒ゼロを目指して　～養護教諭の専門性と小規模校のよさを生かした教育相談活動の在り方～	（教育相談）
関市・安桜小学校	堀口　涼子	対象とのかかわりを深め，気付きの質を高める生活科学習の創造　～科学的な見方・考え方の基礎を養うことを視野に入れながら～	（生活）
関市・瀬尻小学校	山田　真樹	子どもの生活から生まれる生活単元学習の単元づくり　～Ａ児のコミュニケーション能力の育成を中心に～	（特別支援）
関市・桜ヶ丘中学校	増子　光昭	「おもい」を具体化して意欲的に課題を解決し製作に取り組む生徒を育てる指導の一試み ～プロジェクト学習による，１学年題材「アイディア木製品の設計と製作」をとおして～	（技術）
郡上市・高鷲小学校	小椋　徹二	自ら学ぶ子を育てる算数科学習のあり方　～既習事項を生かして学び，「できた」「わかった」という喜びが味わえる算数科授業の創造～	（算数）
美濃加茂市・太田小学校	高橋　泰行	仲間との共通の目的に向かって，自分の力を発揮できる子が育つ指導　～相手を喜ばせることを目的とした活動の展開と発展を通して～	（特別支援）
可児市・今渡北小学校	山田　真紀	大地のつくりを実感できる授業を目指して　～第６学年「大地のつくりと変化」での実践から～	（理科）
可児市・御嵩町中学校組合立共和中学校	大本　智美	「生徒が変わる」「学級が変わる」道徳教育の実践　～生徒の願いに指針を与える道徳の時間と温かい人間関係を築く学級経営の工夫を通して～	（道徳）
東白川村・東白川中学校	藤井麻衣子	日本の伝統音楽のよさを味わい意欲的に表現することができる生徒の育成	（音楽）
多治見市・陶都中学校	加知　昌彦	一人一人が言語の力を身に付けていく国語科学習	（国語）
多治見市・多治見中学校	岡田　海保	正しく，まとまりのある５文程度の英語で生き生きと自己表現できる生徒　～２年生 Speaking 領域２単元における指導の工夫を通して～	（英語）
瑞浪市・瑞浪小学校	小木曽佳子	実験を通して科学的に追究する喜びを味わい，自然現象に驚きや感動をもつ子をめざして	（理科）
瑞浪市・土岐小学校	遠藤　晶子	数理的に追究できる子～仲間との学び合いを通して～	（算数）
恵那市・東野小学校	鈴木由美子	事象を見つめ深く考える子をめざして　～見学・調査活動を基盤に社会的な見方・考え方を深める話し合いの工夫～	（社会）
恵那市・山岡中学校	加藤　高祥	社会的事象を「多面的・多角的」に考察し，公正に判断できる生徒　～自らの見方や考え方を深める学習指導を通して～	（社会）
中津川市・南小学校	舘林　美和	進んで学ぶ子の育成　～課題を意識して運動する子をめざして～	（体育）
高山市・栃尾小学校	山本　智子	言葉にひたり，想いを深める国語の授業づくり　～読むこと領域を軸にして～	（国語）
飛騨市・河合中学校	高木　直子	「話し合いの方向性をとらえて，的確に話すことができる力」の育成　～パネルディスカッションを通して～	（国語）
飛騨市・神岡中学校	下嶋　健児	生徒が意欲をもち，根拠を明らかにして課題を追究する社会科学習 ～追究意欲を高める課題設定のあり方，社会的なものの見方・考え方を育む学び方や交流活動～	（社会）
下呂市・下呂小学校	武田　淳次	今，「社会科」に何ができるのか？　～児童による授業評価，感想から社会科の存在意義を考える～	（社会）

ＡＣＴ支援室だより

岐阜大学教育学部の

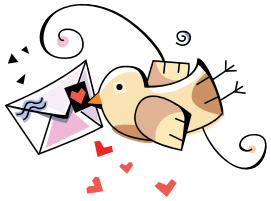
ＡＣＴプランの推進に努めているＡＣＴ（アクト）支援室からのたよりもこれで３回目となります。ＡＣＴは，「Active Collaboration Teaching」の頭文字をとったもので，１年生から４年生まで，段階を踏んで大学での講義内容（教科専門・教科教育法・教職専門）と小中学校．特別支援学校などでの教育実習とを関連させ，理論，実践の両面から教員養成を進める プラン のことです。

私たちが大学生だったときは，３年生までは，時に小中学校での授業を参観したり，先輩が実習する姿を見学することはありましたが，教育実習を体験する機会は，４年生が最初で最後でした。

それはそれで新鮮に学校に赴くことができるという良さもありましたが，新鮮すぎて戸惑ったり，教育実習を体験して教師になろうという意欲が強まった学生が教員採用試験に向けて準備したり，大学での勉学に励んだりする期間が極めて短かったりする面もありました。

そうした時代に卒業した私たちから現在のように整えられてきたＡＣＴプランを見ると隔世の感があります。

教育学部に入学してくる学生には，教師になろうという志を強く持っている学生と，果たして自分は教師に向いているのか，教師になっていいものだろうかと迷っている学生がいます。どちらの学生にとっても，入学した年次からＡＣＴプランに従って小中学校などの教育機関に足を運んで子どもたちと関わる体験を積み，指導してくださる先生方の実際の姿を通してより深く自分を見つめ，進路という大切な命を注ぐ道を選び取ることは大きな意味のあることだと思います。



１年生　教職トライアル

附属小中学校での隔週の観察実習。見学したことについて大学の各講座で意見交流を含め，見識を深めて次の週の実習に臨む。

【教職トライアルの前後の短歌・俳句】

【before】

トライアル　不安はかなりあるけれど　今はひたすら　Try あるのみ

先生と　呼ばれる私を今はまだ　想像もつかない　十八の春

トライアル　夢にまで見た教壇に　一歩近付け　頑張れ自分

【after】

トライアル　立ちっぱなしで疲れても　子どもの笑顔で　私も笑顔に

「おじさん」と　言われて気付く　自分の老い

四年後に　一人で子ども四十人　見きれるように　なるのだろうか

２年生　教職リサーチ

岐阜市内の小中学校における１週間ずつの参加型体験実習。

小中学校の夏休み明けの９月に実施。

隔週で実習に出かけていたトライアルと異なって給食なども児童生徒と共にする連続の５日間を体験。

【実習後の文章から】

リサーチの数学の授業で，「分からん」と言い続ける生徒のサポートにつきました。どうしても自分に自信を持ってほしくて，一つ一つ拾って，「絶対できるって・・・」と言い続けました。すると，その数分後，机間指導中の先生に初めて自分から答えを見せに行きました。それだけでもうれしかったのに，なんと，正解でした。うれしくて二人でハイタッチしました。

教員養成プログラム「ＡＣＴ（アクト）プラン」の紹介

臨床実践講師　田口和男　昭和 43 年度 生物地学科（生物）卒業
安田重彦　昭和 43 年度 数学科卒業
大塚頼明　昭和 43 年度 国語国文科卒業

ＡＣＴプランに基づいて県内の各地で教師を目指す後輩を温かく，厳しく育てていただいていることを感謝いたします。

教職プラクティスは，岐阜市内の実習校に加えて，美濃管内では美濃小学校・桜ヶ丘小学校・美濃中学校・桜ヶ丘中学校，東濃管内では中津川南小学校・瑞浪小学校・恵那西中学校・泉中学校，飛騨管内では高山市立北小学校，日枝中学校で実習させていただいています。

教職インターンは，岐阜大学と連携協力を結んでいる市郡町（岐阜市，羽島市，各務原市，山県市，瑞穂市，本巣市，羽島郡，北方町，大垣市，海津市，垂井町，関ヶ原町，関市，美濃市，美濃加茂市，瑞浪市，高山市）などの中から，学生の希望する郡市の学校で実習させていただいています。

私たち三人も，若さ溢れる学生たちに良い展望が開けるように県内各地の学校を訪問させていただきながら力を尽くしますので，今後ともお力添えのほど，よろしくお願いいたします。

お時間がありましたら，教育学部３階のＡＣＴ支援室にお立ち寄りください。

ＡＣＴ支援室　電話：058-293-2319
E-mail アドレス：田口　pt41118317@gifu-u.ac.jp
安田　pt41118326@gifu-u.ac.jp
大塚　pt41118335@gifu-u.ac.jp

３年生　教職プラクティス

４週間の教育実習。以前，４年生で実施していた教育実習にあたり，学生たちは，ここで初めて自分が授業者となる体験を積みます。

【実習を前にして学生たちが書いた課題例】

自分の感性・価値観を磨く
失敗を重ねて自分を高める
自分を変えるチャンス
まず自分の生活を改善
体力をつけて臨む
しっかり怒れる先生に
表情・声のトーンを豊かに
ほめかたの言葉のレパートリーを増やしたい
「友達先生」でなく，「厳しくも面白い先生」を目指す

４年生　教職インターン

自分の中に培われてきた教師像，明らかになってきた課題を実際に学校において追究する実習。

【中学校で実習した学生のことば】

「生徒会の役員に立候補するかどうか迷っている生徒に，自分が中学時代に迷いながらも立候補して苦労したけれど得たことも大きかったことを話したら，その生徒が立候補を決意したことが嬉しく，教師にはこういう充実感があることを体験できたので，ますます教師になろうという決意が強まった。」

彼は，教員採用試験で「教師になりたい理由」を問われたら，このことを語りますと話してくれました。

教員をめざす皆さんへ

教師として大切にしていること

～普遍の「価値」や「考え方」を伝える～

瑞浪市立瑞陵中学校　小栗公介
平成 14 年度 数学教育講座卒業

教師として最も大切なことは何か。その問いに端的に答えることは，今の自分では難しい。初任の３年間を小学校で勤務し，２校目３校目の５年間を中学校で勤務している。中学校に勤務し始めた頃，同じ教師といえど，小学校と中学校は，１８０度違うように感じていた。しかし最近では，中学校での勤務に慣れるとともに，小学校教育でも中学校教育でも根底に流れている大切な「価値」や「考え方」は同じであることが少しずつ分かってきた。大切にしていくべき「価値」や「考え方」について自分なりに書かせていただく。

私の初任校は，美濃加茂市の小学校であった。近くに大きな工場があり，そこにはたくさんの外国人（主にブラジル籍）が務めていた。その関係で，たくさんの外国籍児童が在籍していた。実際，私も毎年何人かの外国籍児童を担任していた。

その小学校は，総合的な学習の時間で，異文化を理解することを通して，共に生きていく力を育てる国際理解教育を進めていた。近くのブラジリアンスクールの児童と交流をしたり，校内にブラジル籍児童が分かりやすいようにポルトガル語の掲示物やポスターをつくったりした。朝の活動では，ブラジル籍児童からポルトガル語を習う活動なども行っていた。そのような活動を通して，子どもたちと異文化を理解するために大切にしなければいけないこととしてまとめたことは，「相手の立場に立ったものの考え方をすること，お互いがお互いを思いやること」だった。

２校目で私は，中学１年生から中学３年生まで持ち上がりで生徒を担任した。中学３年生の担任では，修学旅行で長崎に行った。「痛みを心で分かる」をテーマに，２年生の頃から事前学習を進め，原爆の被害を調べたり，被爆者の手記を朗読したり，原爆や戦争に関する映像を見たり，戦争に関する演劇をしたり・・・。そんな活動を通して，徐々に平和に対する考えを育てていった。そういった土台をもとに長崎に行き，被爆者の話を実際に聞いた。被爆者の方は，原爆や戦争の悲惨さを強く訴えた後，次のように語られた。「平和のために今みなさんができることは，自分の隣にいる人と仲良くすること，クラスの仲間を大切にすること」だと。

３校目である本校では，１年生の担任をし，福祉学習に取り組んでいる。障害者やバリアフリーについて調べたり，お年寄りとゲートボールを通して交流したり，様々な福祉施設を訪問したりしている。そんな活動の中，手話講座で講師を務めてくださった耳の不自由な方が，講座の最後に言われた言葉は，「相手の立場に立ったコミュニュケーションをすることが大切。そうしたことの繰り返しが，互いが互いを思いやるということにつながる」というものであった。

小学校で行った国際理解教育と中学校で行った平和教育，福祉教育。一見，出口は違うように思えるが，根底に流れる大切にしなければいけない「価値」や「考え方」は，一緒であることに改めて気づかされた。さらに言うと，こういった「価値」や「考え方」は，小学校や中学校に限らず，教育活動全般で大切にされているし，小学校１年生から中学校３年生までの９年間の教育活動だけでなく，社会人になってからも大切にされている。

小学校・中学校の違いや教科の違い，発達段階の違いなど，様々な違いがある中で，そのもとにある「価値」や「考え方」を大切にして，それを児童・生徒に伝えていくことが，現在，私が教師として大切にしていることである。それをしっかりと伝えるために，自分自身の人間性をよりいっそう磨いていくことこそ，教師として最も大切なことであると強く思う。

教員をめざす皆さんへ

子どもたちに教えられ，学び，成長できた６年間

山県市立高富小学校　河島　涼子
平成 15 年度　社会科教育（法律・経済）講座卒業

「２年３組，河島涼子先生」４月最初の着任式。６年前，私は初めて教師となり教壇に立ちました。目の前の子どもたちは，私の目を真っ直ぐに見て「どんな先生かな。楽しい１年間になるかな。こんな２年生になりたいな。」期待と希望に満ち溢れたきらきらと輝く瞳で私の話を聴いてくれました。「かわいい子どもたちと共に１年間頑張るぞ。」と大きな希望を胸に教員生活をスタートさせたことを今でも覚えています。

しかし，いざ教師として目の前にいる子どもと実際にかかわっていくと，失敗，失敗，失敗の連続でした。初めのうちは，目の前にいる子どもにどう対応すればいいのかが分からず，子どもがけんかをすればおろおろしたり，子どもが反発すれば「どうしよう。」と悩んだり，授業も上手くできなかったり・・・。教師として子どもたちと接すること，子どもたちを指導することの難しさを本当に痛感しました。教師一年目の一年間は，子ども一人一人の人生にもかかわってくるかもしれないこの教師という職業に私がついていていいのか，自分自身に問い続け悩んだ一年間でもありました。しかし，この一年間は，教師として，人間として，自分自身を成長させてくれた一年間でもあったと思います。悩みながらも，２年３組の子どもたちとの出会いがあったからこそ，私は今も教師を続けることができているのだと思います。教えるはずの子どもから，逆に多くのことを教えられ学びました。

私は今４年生の担任をしています。毎日子どもたちは様々な表情を見せてくれます。音楽会に向けて口を大きく開けて一生懸命歌う子。苦手な給食も鼻をつまみながら食べようと挑戦する子。掃除時間に汗をびっしょりかきながら黙々と掃除に取り組む子。運動会で負けて「頑張ったのに。」と悔しがる子。いろんな表情を見せる子どもたちがいます。そんな子どもたちとかかわりながら，私自身も毎日子どもから教えられ，学び，教師としてまだまだ成長している途中です。「先生のおかげで大縄跳びが跳べるようになったよ。」「今日は全部給食を食べることができたよ。」子どもたちがうれしそうに話す姿や，挑戦する姿を見るたびに元気づけられています。

一人の人間として意志をもち生きている子どもと向き合うことは本当に難しいことです。それだけに，子どもたちが一日一日成長していく瞬間に出会うことができる教師は，とてもやりがいがある職業だと思います。一人一人の子どもたちはどの子も，大人では想像もつかないような力をもっています。子どもたちがその自分の力を少しでも伸ばしていくことができるように，子どもの頑張りやちょっとした成長に気付く目をもち，その瞬間を見逃さずに温かい言葉をかけることができる教師を目指して，これからも成長していきたいと思います。

学生の就職状況について

教育指導員　後藤 忠喜
昭和 38 年度 数学科卒業

1. 教員採用の状況

本学部は教員養成を目的として設置されており，教師を目指す学生の就職状況が学部の評価と密接に関わってきます。ここ数年，教員の退職者の増加に伴い教員採用の状況は，徐々に良くなりつつあります。（但し，児童・生徒の減少等により，退職者の増加ほどには新規採用教員の増加が望めないのが現状です）

岐阜県では小・中・高・特支ともに結構倍率は高かったのですが，現役受験生の合格率は良い結果を出しています。しかし，わが教育学部の岐阜県全体に占める新規教員採用数が意外と少ないのです。その理由として，

①教員志望の学生が 177 名（教採一次受験者数）と，全体の 59.4％にとどまっていること。

②岐阜県受験者数の減少（岐阜県受験者数は 121 名で昨年よりは９名増）

③中学校・高等学校の専門科目がやや弱いと思われること。

などが挙げられます。

学部では，教育実践現場での実習体験に基づいた「アクトプランカリキュラム」を平成 17 年度から本格実施しています。現場での経験が今後教員採用者数の増加に繋がることを期待する一方，現役生あるいは講師をしている既卒者への同窓生各位の一層のご支援をどうぞよろしくお願いします。

【模擬集団面接（教採一次対応）】

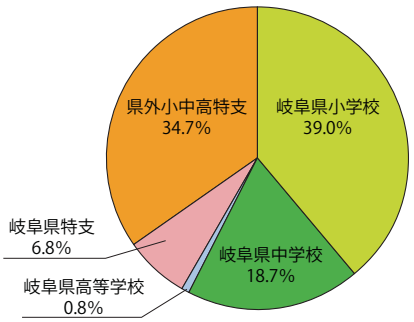
2. 学部生・院生の平成 21 年度実施教員採用試験合格状況

県内外の合格者数は次のとおりです。尚，教員志望者で惜しくも採用試験不合格の学生には，来年度の就職及び採用試験に向けて就職対策委員会・学部事務・教育指導担当講師及びＡＣＴ支援室の臨床実践講師が，学生のための指導体制を整え，支援しています。

	岐　阜　県				県外計
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	
学部生	４２	１８	0	8	３７
大学院生	4	4	1	0	4
合　計	４６	２２	1	8	４１

数字は合格者数（名）。延べ 118 名が合格でした。

合格者の学部生・大学院生の校種及び県内外比率



3. 既卒者の教員採用試験結果について

既卒者で，岐阜県の教員採用試験を受験した方は 148 名です。内合格者は小学校 25 名，中学校８名，高等学校６名，特別支援学校８名で，合計 47 名でした。

まだまだ既卒者で教師を目指して頑張っている方が皆様のまわりにおられることと思います。是非是非ご支援をよろしくお願いします。

【模擬集団討議（教採二次対応）】

学生の進路相談 随時受付

教育学部本館１階東奥の「進路相談室」で後藤忠喜，吉田芙美子の２名が進路相談を行っています。
上の記事とも関連しますが，既卒者で教師を目指しておられる方，最新情報をもとに相談にのりますのでご連絡ください。

月・火・水・金曜日の 10：00 ～ 16：00　進路相談室：058-293-2208

ご退職・ご転任された教員のご紹介

平成 20 年度をもって，退職・転任された教員は次のとおりです。

石渡　哲哉	数学教育	准教授	H21.3.31
松本　省吾	理科教育	教　授	H21.3.31
吉田　昌春	技術教育	教　授	H21.3.31
馬路　泰蔵	家政教育	教　授	H21.3.31

新しく着任された教員のご紹介

平成 21 年度に教育学部に着任された教員は次の通りです。

須本　良夫	社会科教育	准教授	H21.4.1
久保田浩史	保健体育	准教授	H21.4.1
小島　道生	特別支援教育	准教授	H21.4.1
栢植　直樹	数学教育	准教授	H21.10.1

同窓会事務局からのお願い

住所不明者一覧表について

本号では「住所不明者一覧表」を同封しております。現在，同窓会員名簿の住所不明者が 4800 名ほどおられます。個人情報保護法の制定により，会員名簿の印刷配布は平成 11 年以降中止とし，また事務局から卒業生への電話等による問い合わせも特別な場合を除いて行っておりません。

現在のところ住所不明者についての確認手段がなく，年 1 回発行の会報発送時に宛所不明で返送される数も増えてきています。そこで，この夏各学科同窓会事務局のお力をお借りし，調査を行いましたが依然不明な方の卒業年とお名前をリストにしました。この中にあなたのご存知の友人・知人がいらっしゃいましたら，下記同窓会事務局へ是非ご連絡くださいますようお願いいたします。

また，会報がお手元に届いている方でも住所変更で転送されたり，実家に送られている方はお手数ですが，事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

【連絡方法】

はがきでのご連絡	〒 501-1193　岐阜市柳戸 1 番 1　岐阜大学教育学部内　同窓会事務局　宛
電話またはＦＡＸでのご連絡	電話：058-293-2344　Fax：058-293-2343
Ｅメールでのご連絡	kyo_doso@gifu-u.ac.jp

注意：同窓会事務局では，会員の個人情報の開示は行えませんのでお問い合わせはご遠慮ください。

※※

同窓会事務局の担当者が変わりました

平成 21 年 3 月に，これまでお世話になりました長屋晴美さんがご退職され，後任に野村聡美さんが 4 月より着任されました。よろしくお願いいたします。

各学科同窓会の活動

国語（事務局　岐阜大学教育学部附属中学校　遠山　健二）

学科としてまとまった活動は行えておりませんが，学年ごとに連絡を取り合って連携を深めています。学科名簿の作成が，今後の課題です。

史学（事務局　岐阜大学教育学部附属小学校　平野　孝雄）

(1) 史明会総会
［期日］　平成21年8月16日（日）
［場所］　岐阜会館
①総　会
会長挨拶，事業報告・計画，会計報告，新役員報告
②講　演
「地域史研究と歴史教育」
講師　岐阜大学教育学部　早川　万年　先生
1，「地域史の進展」
2，契機としての自治体史編纂
3，歴史学習における地域教材
4，「学校歴史」の充実と「地域史」　－むすび－
③懇親会

地理（事務局　岐阜大学教育学部附属小学校　奥村　雅人）

(1) 第35回同窓会「濃飛の会」（第41回生 代表 各務 至が担当）
［期日］　平成21年8月1日（土）
［会場］　岐阜大学教育学部棟5F
①総　会
・開会の言葉
・実行委員のあいさつ
・参加者の自己紹介
・恩師の先生のお話
・次回42回生代表の話

②学習会
「岐阜市島・則武地区の農業について」（現地での巡検を実施）

(2) 次回活動予定
平成22年8月7日（土）　（第42回生が担当）

数学（事務局　岐阜市立加納中学校　岩井隆史）

(1) 総会
［開催日］　平成21年6月21日（土）
［会　場］　岐阜大学教育学部本館7階第一会議室
［講　演］　岐阜大学教育学部　数学教育講座
准教授　佐治　健太郎　先生
演題　写像の特異点理論の紹介
［研究会］　発表者
45期 岐阜大学教育学部附属小学校　小島　亮太 先生
51期 土岐市立土岐津中学校　冨倉　亮 先生

(2) 同窓会名簿「わしょう」の作成
本年度は同窓会名簿の改訂・発行の年度にあたり，９月に会員に名簿を発送した。（運営委員会の開催と作業）

(3) 今後の活動予定
○数学科卒業予定者に対して，数学科同窓会「わしょう会」の組織・規約等の説明会を行う。（平成22年2月予定）
○運営委員会を行い，来年度の計画を立案する。
（平成22年3月予定）

物理（事務局　白川町立黒川中学校　鈴村雅史）

川崎先生・尾崎先生のご退職を祝う会のご案内

物理科教授の川崎守先生・尾崎浩巳先生が平成22年3月をもってご退職されます。
つきましては，お二人のご退職をお祝いし，ご功績を讃えるとともに，感謝する会を下記のように企画いたしました。是非ともご参加くださいますようご案内します。

記

(1) 日時：平成22年2月6日㈯，午後6時30分（受付6時00分）

(2) 会場：岐阜大学「生協第二食堂」
（岐阜市柳戸1－1 TEL:058-239-6176）

(3) 会費：8,000円（記念品代を含みます），会場にて集めます。

(4) 参加申込みについて
参加される方は氏名，卒業年次，電話番号等の連絡方法を事務局（黒川中学校 鈴村雅史）へ1月15日までに，下記の方法でお知らせください。

【参加申込先】　黒川中学校 鈴村雅史
ﾒｰﾙ：info@kurokawatyu.town.shirakawa.gifu.jp
Tel：0574-77-1102　Fax：0574-77-2043）

(5) その他
当日教育学部にて，9:00より卒論発表会，15:00より尾崎・川崎両教員の最終講義を予定しております。ご都合のつく方はそちらもご参加ください。
詳細：http://www.phys.ed.gifu-u.ac.jp/

化学（事務局　三里小学校　佐藤　伸幸）

(1) 同窓会運営
・平成21年 3 月14日（土）
運営委員会（於：グランパレホテル）
・平成21年11月上旬
同窓会会報「かんきせん」第21号発行

(2) 研究会活動
・岐阜かがく教育研究会の活動
毎月1回ほど，会員5～10名が岐阜大学附属学校に集まり，指導案協議や教材開発・実験などを行い，幅広く学びあっている。

平成21年12月末　実践発表会（岐阜大学附属学校）開催予定
同　　日　　総会・懇親会（グランヴェール岐山）開催予定

(3) 現役学生との交流活動
年度末に開催される「大学卒業論文・大学院修士論文発表会」と，「送別会」に同窓会員も数名参加し，学問研究に触れたり，教育現場の立場でアドバイスしたり，学生と教員・産業界等の同窓生との交流を深めている。

生物（事務局　岐阜大学教育学部附属中学校　渡辺　寛樹）

(1) 理事会　年３回
　機関誌「岐阜の理科」の編集方針検討，名簿校正作業，機関誌・名簿発送作業，総会打ち合わせなどを行っている。

今年度は
①平成 21 年 1 月 31 日に機関誌「岐阜の理科」No.22 の発送作業をおこなった。

②平成 21 年 7 月 4 日に機関誌「岐阜の理科」No.23 の編集方針，名簿校正作業，第 19 回同窓会総会の打ち合わせを行った。

③平成 22 年 1 月に機関誌「岐阜の理科」No.23 の発送作業を予定。

(2) 総会（隔年）
　同窓会員の研究実践の交流及び，親睦と最近の教育学部生物科の卒業研究報告会を兼ねて行っている。
次回，第 19 回総会は　平成 22 年 8 月を予定

(3) 機関誌「岐阜の生物」
　毎年 1 月に発刊，全会員に郵送している。（本年度は第 23 号を発刊の予定）

地学（事務局　飛騨教育事務所　山田茂樹）

　総会など定期的な活動は行っていませんが，毎年，12 月末に有志による実践発表・研究会，および懇親会を継続的に実施しています。興味のある方は，ぜひご連絡ください。詳しい案内を差し上げます。

＜連絡先＞飛騨教育事務所
山田茂樹　TEL 0577-33-1111（代）内線 419

音楽（事務局　同窓会会長　三羽幸夫）

(1) 正会員数　1,057 名（新入会員 16 名。物故者を含む。）

(2) 名誉会員（恩師）数　22 名（生存会員 14 名。物故者 8 名）

(3) 各種会合の開催
本部役員会。事務局会。機関誌「間」編集委員会。

(4) 平成 22 年度新入会員（第 58 回）への同窓会説明会の開催（平成 21 年 12 月の予定）
毎年，名誉会長（研究室代表）及び研究室の先生方のご協力により実施。４年生参加。

(5) 機関誌「間」（第 39 号 年 1 回発行）と全会員への配付。（10 月 25 日発送作業）

(6) 本部役員会・理事会の開催（８月９日，北部コミセンにて）
第 15 回　同窓会総会・懇親会の開催。役員改選並びに役員推薦委員の選任について。他

開催予定日：平成 22 年 11 月 14 日（日）
会場：ホテル「グランヴェール岐山」

(7) 平成 21 年度
卒業演奏会への支援，激励。
（平成 22 年 2 月 11 日　サラマンカホール）

(8) 卒業生（同窓会員）による演奏会への紙上後援（チラシ，プログラム等への同窓会名の記載）

平成 21 年 2 月 11 日　平成 20 年度　卒業演奏会　合唱のステージ

美術（事務局　岐阜大学教育学部附属小学校　山本真司）

(1) 岐阜大学教育学部美術教育講座同窓会のホームページ開設を目指して
　来年度に向け，現在ホームページ内容を検討中です。平成 22 年 8 月に総会（年次代表者会）を開き，決定していけたらと考えています。その後に，ホームページを立ち上げる予定です。

(2) 各種展覧会で活躍
　各卒業年次でのグループ展，各々の個展，各小中学校のグループ展など，様々な展覧会において作品を出品し頑張っています。

(3) 第 58 回 岐阜大学教育学部美術教育講座卒業・大学院修了制作展のお知らせ
［日時］　平成 22 年 2 月 16 日㈫ ～ 21 日㈰ 10：00 ～ 18：00
　　※ 19 日㈮は 21：00 まで，21 日㈰は，16：00 まで）
［場所］　岐阜県美術館　県民ギャラリー　一般展示室Ｂ

岐阜大学教育学部美術教育講座展（在学生作品展）のお知らせ
［日時］　卒業・修了制作展と同時開催
［場所］　岐阜県美術館　県民ギャラリー　一般展示室Ａ

※本年度の卒業・修了制作展では，在校生による在学生展も同時開催されます。

※美術教育講座を卒業されたみなさんが様々な展覧会を開いて活躍されています。展覧会情報がありましたら，事務局までお知らせください。

大学祭での美術展示風景

体育（事務局　羽島市立桑原中学校　岡部好四郎）

(1) 総会，還暦祝いの会及び懇親会
［期日］　平成 21 年６月 13 日（土）　90 人出席
［会場］　ホテルグランヴェール岐山
［総会内容］
① 新入会員（16 人）と物故者（１人）の報告
② 20 年度会務，事業報告，会計報告及び監査報告
③ 21 年度事業計画及び予算案の承認
④ 大学の近況報告

(2) 事業の内容
①平成 21 年１月から６月の間に役員会を３回，常任理事会を１回開催して，各種の事業について検討した。
②在学生優秀選手の選出を行い，２月 11 日に表彰した。対象者 16 人にメダル及び表彰状を授与した。（役員３名出席）
③３月 24 日に新入会員の入会式を開催した。（役員３名出席）

技術・職業（事務局　岐阜大学教育学部附属中学校　淀川雅夫）

(1) 同窓会名簿について
これまでは３年に１度，同窓会名簿を発送させていただいておりましたが，昨年の総会にて，希望される方へ有料（1 冊 500 円）で配布させていただくことになりました。希望される方は次のように手続きをお願いします。

①名簿を希望される方は料金を下記の口座に振り込んでください。

●ゆうちょ銀行から振り込みをされる場合
記号 12490　口座番号 3501981
口座名　「岐阜大学教育学部技術・職業学科同窓会」

●ゆうちょ銀行の金融機関から振り込みをされる場合
店番 248　普通口座　口座番号 0350198
口座名　「岐阜大学教育学部技術・職業学科同窓会」

＊昨年度は上記の情報が不十分のため手続きが行えなかったと思われます。大変ご迷惑をおかけしました。

②振り込みの際には「ヨドガワマサオ（H ８ネン）」というように氏名と卒業年度を明記してください。これをもとに希望者と発送先を特定していきますので必ずお願いします。

③振り込み後，事務局まで電話をいただきたいと思います。こちらで管理している住所を確認の上，発送の手続きをさせていただきます。

④ご不明な点，ご心配な点などございましたら，お手数ですが事務局までお問い合わせください。
（岐阜大学教育学部附属中学校　電話 058-271-0320）

(2) 同窓会総会について
次回は平成 23 年度に岐阜地区で開催の予定です。よろしくお願いします。

(3) 研究大会
同窓会の皆様を中心に組織されています，岐阜県中学校技術・家庭科研究部会の県大会が平成 21 年 10 月 27 日，西濃地区の垂井町立不破中学校で開催されました。ご支援いただきまして誠にありがとうございました。

家政（事務局　坪井春美）

(1) 平成 21 年度の活動
①年次代表会
平成 21 年４月 18 日にグランヴェール岐山にて，総会の内容について検討しました。

②第９回同窓会総会・懇談会
５年に１度の総会・懇談会を行いました。恩師４名，会員 126 名の参加を得て，親睦を深めました。
〔期日〕平成 21 年８月９日
〔会場〕グランヴェール岐山

③会員名簿の作成
平成 21 年度版を作成，全会員に配布。

(2) 今後の活動
①総会　次回は平成 26 年８月に予定。
②会員名簿　毎年，年次代表者を通じて会員名簿を訂正し，現況を把握。

英語（事務局　（財）岐阜県イベント・スポーツ振興事業団　岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター　業務情報課　山下敦子）

(1) 平成 21 年度の活動
・３年に一度の総会の準備をしました。
◎本部役員会　平成 21 年９月５日（土）
会場：岐阜大学教育学部附属中学校

◎理事・評議員会　平成 21 年 11 月 29 日（日）
会場：岐阜大学教育学部附属中学校

(2) 今後の活動
総会を平成 22 年１月 24 日（日）に行います。
是非，ご参加ください。

【連絡先】　岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター
山下　敦子 058-295-6305
atk381122@yahoo.co.jp

特別支援教育（事務局　古田重行）

２年に１回の会合を開きました。

(1) 特別支援教育同窓会
［期日］　平成 20 年 12 月６日（土）
［会場］　ホテルグランヴェール岐山

実践発表　土屋多美恵　教諭
「『知的な気付きが』育つ授業の在り方について」

講　　演　宮脇　　修　名古屋女子大名誉教授
「教育活動に携わった私のこれまでの歩み」

※※※※※※※※※※※※ 原稿をお待ちしております ※※※※※※※※※※※※

同窓生のみなさんの近況や活動を同窓会報で紹介させていただきたいと思います。
紹介したい記事等をお持ちの方は，原稿や写真等を同窓会事務局へ郵送または Fax または E メールでお送りください。

【同窓会事務局】
郵送先：〒 501-1193　岐阜市柳戸１番１　「岐阜大学教育学部内　同窓会事務局」宛
ＦＡＸ：058-293-2343　E-mail：kyo_doso@gifu-u.ac.jp

傘寿を喜び合う『二四会』同窓会

岐阜師範学校『二四会』同窓会　岐阜北ブロック　高橋久孝

『二四会』

昭和 24 年 3 月に，岐阜師範学校を卒業した男女 5 クラス 220 名の同窓者の会である。卒業後しばらく県内外の各地で，親睦を目的に，それぞれ任意に行っていた同窓の集いを，昭和 42 年にまとめて『二四会』とした。

『二四会の活動』

友情をあたため，絆を強くし，組織的に長く続けるために「会の目的・規約・基金・組織」など成文化して，県内外を 8 ブロック 22 班の連絡網をつくり，次のような活動を続けている。

① 隔年にブロック持ち回りで，総会・懇親会を行う。
② 会員が逝去したときは，絆の結びとして生花一対を捧げる。
③ 世話人会を隔年に開いて二四会の円滑な運営に努める。

『傘寿を喜び合う今』

現在は会員が 162 名となり，県内外で暮らしているが，いまなお強い絆で結ばれているのは，60 年前に苦楽を共にした学生時代があったからだ。懇親会のたびに当時を懐かしみ会話が弾む。『全生徒が寮生活しなければならなかった事。戦中・戦後の両方の学習をさせられた事。男女共学の文部省令により，女子部が長良校舎に移って男子部と合流したため，一層青春を謳歌した事。理科・図工・音楽・体育等，実習教科以外は，ホームルーム（普通教室）へ先生が来て講義をした事。小学校の免許取得には，オルガン演奏が欠かせないため，その練習に苦労した事など』師範学校時代を懐かしむ。

『傘寿を機に，全員が集う事はやめる』

二四会開催の案内を出した時の返事は「都合が悪いので欠席する」より「自分や連れ合いの身体的な障害のため欠席する」が多くなった事は誰もが認識し始めてきた。全会員の意見集約をした結果，「全員が一堂に集う事はやめるが，活動の②と③はしっかりと継続する」ことになった。

『二四会シンボルの横幕』

岐阜師範学校 24 会同窓会　平成 21 年 10 月 24 日
於 岐阜シティタワー 43「スカイレストラン 43」

長年使ってきた横幕も，全体会をやらなければ必要がなくなる。しかし，描かれている男子師範・女子師範の『校章』や，壊されて今は無いが，昭和 9 年に建築された『長良校舎の正面写真』それに，当時使われていた『岐阜師範学校の書体』を見たとき，どれをとっても史実的文化を持っている。捨てるには惜しい。ちょっとした罪悪感さえ抱く。

幸い，岐阜大学教育学部同窓会長さんから「同窓会資料の一つとして預かってもよい」とのお言葉。大変嬉しく誇りに思う。この横幕を作成してくれた，二四会会員で，八百津町在住の吉田君にも感謝しつつ文を閉じたい。

平成 21 年（2009）10 月

平成 21 年度　各学科同窓会事務局

講座名	学科			所　在　地	担当者	電　話
国語教育	国語	〒500-8482	岐阜市加納大手町 74	岐阜大学教育学部附属中学校	遠山　健二	058-271-0320
社会科教育	史学	〒500-8482	岐阜市加納大手町 74	岐阜大学教育学部附属小学校	平野　孝雄	058-271-3545
	地理	〒500-8482	岐阜市加納大手町 74	岐阜大学教育学部附属小学校	奥村　雅人	058-271-3545
	法経	〒501-5507	大野郡白川村平瀬 126-11	平瀬小学校	丸山　靖生	05769-5-2110
	哲学	〒501-6241	羽島市竹鼻町 1295	竹鼻小学校	田中　　明	058-392-3000
数学教育	数学	〒502-0056	岐阜市長良真生町 3-9	長良東小学校	渡辺　　出	058-233-7203
理科教育	物理	〒509-1431	加茂郡白川町黒川 2929	黒川中学校	鈴村　雅史	0574-77-1102
	化学	〒500-8359	岐阜市六条北 2 丁目 5-1	三里小学校	佐藤　伸幸	058-271-3605
	生物	〒500-8482	岐阜市加納大手町 74	岐阜大学教育学部附属中学校	渡辺　寛樹	058-271-0320
	地学	〒506-8688	高山市上岡本町 7-468	飛騨教育事務所 教育支援課	山田　茂樹	0577-33-1111
音楽教育	音楽				三羽　幸夫	
美術教育	美術	〒500-8482	岐阜市加納大手町 74	岐阜大学教育学部附属小学校	山本　真司	058-271-3545
保健体育	体育	〒501-6321	羽島市桑原町八神 3315-1	桑原中学校	岡部好四郎	058-398-8217
技術教育	技職	〒500-8482	岐阜市加納大手町 74	岐阜大学教育学部附属中学校	淀川　雅夫	058-271-0320
家政教育	家政				坪井　春美	
英語教育	英語	〒502-0817	岐阜市長良福光青襖 2070-7	岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター	山下　敦子	058-295-6305
特別支援教育	治療				古田　重行	
学校教育	教育				中村　正信	

編集後記

教育学部同窓会報第 15 号をお届けします

岐阜大学教育学部のある柳戸キャンパスの風景も，次第に変化しています。医学部の看護学科や医学科の校舎，附属病院の建物，岐阜薬科大学の校舎が並ぶようになり，大学の機能や役割が拡大しているように感じられます。一方，建物に遮られて窓からレンゲの花畑や伊吹山の景色がよく見えなくなり，ちょっと寂しい気もします。キャンパス内のバス停付近にコンビニがオープンしたことも，最近の出来事です。

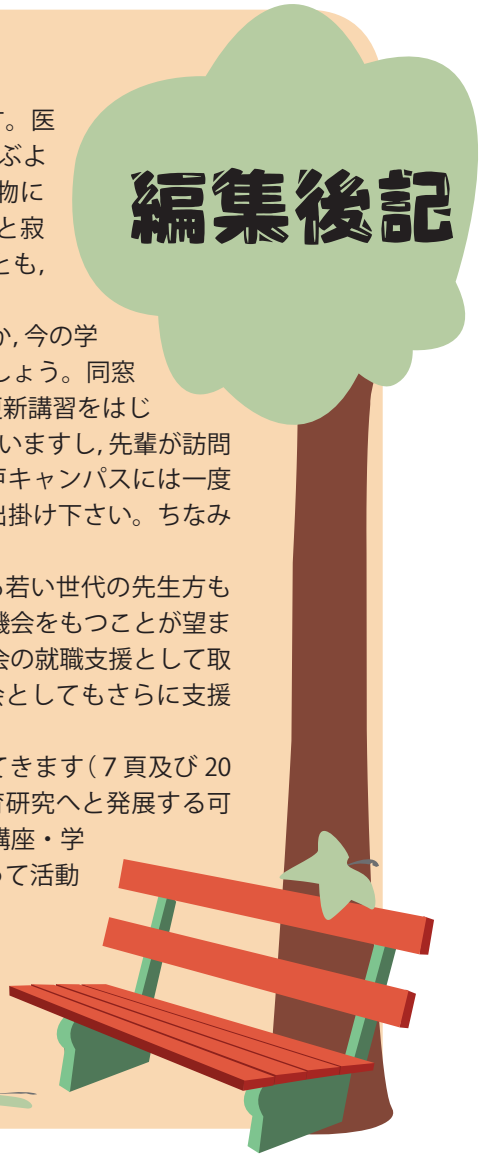
こうした変化は景観上のことですが，教育学部の中身はどうなっているのか，今の学生の皆さんはどんな頑張りをしているのかは，伝わらないことが多いことでしょう。同窓会報がささやかな近況報告になればと思います。教育学部では教員免許状更新講習をはじめとした講習や研修会・公開講座・オープンキャンパス等の行事を実施していますし，先輩が訪問して下さることをお待ちしています。久しぶりとか，まだ卒業してから柳戸キャンパスには一度も行ったことがないという方もいらっしゃるかと思いますが，お気軽にお出掛け下さい。ちなみに土・日曜日や時間外でも，事前に教職員にご連絡下されば大丈夫です。

同窓会には長年にわたって教職経験をつまれた先輩もいれば，活気のある若い世代の先生方もいます。できるだけ多くの同窓生に大学に来ていただいて，学生と交流する機会をもつことが望まれます。実体験に基づいた教育論は，学生たちにとって貴重です。既に後援会の就職支援として取り組んでいますが，先輩の皆さんのお話を聞ける機会を増やすように同窓会としてもさらに支援できればと考えています。

交流という意味では，各講座・学科の同窓会の組織や活動が大切になってきます（7 頁及び 20 ～ 22 頁参照）。継続的な活動を位置付ければ，世代間の交流や共同での教育研究へと発展する可能性があります。ただし，生涯教育講座，生涯教育課程，大学院等では，まだ講座・学科同窓会にあたるものが十分に組織されていません。どうぞお声をかけあって活動をスタートさせて下さい。

本号は，新しい広報部会スタッフと事務局の野村さんが担当しました。お目通し下されば幸いです。最後になりましたが，編集に際してご尽力いただいた方々，ご多忙の中原稿をお寄せ下さいました執筆者の皆様に厚くお礼申し上げます。

（広報部会　辻　泰秀）



岐阜大学同窓会報
第 15 号

発行日 / 平成 21 年 12 月発行
発行者 / 青山　勉
発行所 / 岐阜大学教育学部同窓会

〒 501-1193　岐阜市柳戸 1 番 1
岐阜大学教育学部内 同窓会事務局
TEL. 058-293-2344　FAX.293-2343

岐阜大学教育学部同窓会ホームページ：http://www.ed.gifu-u.ac.jp/~dousoukai/